

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	欧州安全保障協力機構軍備管理・軍縮会合（OSCE）拠出金（任意拠出金）		担当部局	欧州局		作成責任者		
事業開始・終了（予定）年度	平成8年度開始		担当課室	政策課		課長 倉光 秀彰		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-1 国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令（具体的な条項も記載）	外務省設置法第四条第三項		関係する計画、通知等	OSCE事務総長からの要請				
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	世界最大の地域安全保障機構であるOSCEは、56か国が加盟し、我が国を含む12か国のパートナー国が関与している。OSCEは、政治・軍事、経済・環境及び人権・民主主義等、包括的に安全保障問題に取り組んでおり、OSCEが安全保障の観点で取り組むプロジェクトに我が国が支援することは、パートナー国としての我が国のプレゼンスを強化し、また国際的な安全保障環境の改善に資するものである。							
事業概要（5行程度以内。別添可）	OSCEは、冷戦終焉後、「包括的安全保障」の考え方の下、特に民主主義と法の支配の確立が、地域の安全保障上も不可欠であるとの観点から、政治・軍事面のみならず、経済・環境や人権など、幅広い分野で地域の安定、民主化推進のために、現在では主としてアフガニスタン及び中央アジアにおいて多くのプロジェクトを実施し、その実績は国際社会においても高く評価されている。我が国も、OSCEをツールとして利用することにより、分野的にも地域的にも幅広くあるプロジェクトの中から適切な案件を選択して、我が国の政策に合致し、かつ費用対効果の高い支援を実施している。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額（単位：百万円）			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	1	0.9	0.8	0.6	0.5	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	1	0.9	0.8	0.6	0.5	
	執行額		1	0.9	0.8			
執行率（％）		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績（アウトカム）	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値（24年度）
	【成果目標】①平成21年度当初及び②平成22年度当初：憲法・選挙改革支援（メディア・キャンペーン）、③中小企業及び小規模手工芸ビジネスのサポートを通じた女性企業家支援 【成果実績】①平成21年度当初及び②平成22年度当初：放映されたテレビ番組数（毎回の丸が放映）、③参加者数（プロジェクト期間は、2013年3月までの予定） ※平成24年度については、具体的にいかなる案件に拠出するか検討中。			成果実績 ①日（回） ②日（回） ③人	①5	②4	③0	※
				達成度	％	①100%	②100%	③0%
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	OSCEへの拠出			活動実績 （当初見込み） 件	①1	②1 ()	③1 ()	※ ()
単位当たりコスト	①憲法・選挙改革支援（メディア・キャンペーン）（20万円／日（回）） ②憲法・選挙改革支援（メディア・キャンペーン）（22.5万円／日（回）） ③中小企業及び小規模手工芸ビジネスのサポートを通じた女性企業家支援（算出できず。）			算出根拠	①100万円÷5日（回）＝20万円 ②90万円÷4日（回）＝22.5万円 ③他国もプロジェクトに拠出しているため単純計算できない。			
平成24・25年度予算内訳 （単位：百万円）	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	事業費	0.6	0.5	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減				
	計	0.6	0.5					

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		地域安全保障機構が安全保障の観点から、政治・軍事のみならず、経済・環境や人権・民主主義まで幅広い活動分野で行う事業であり、他の組織が代わって実施することは困難。我が国は拠出により、国際的な安全保障環境の改善に寄与することができる。なお、平成23年度予算による事業は平成25年3月までの間実施される予定。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	-	不利用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		OSCEが実施する複数の事業の中から、我が国の外交政策に合致し、かつ、我が国支援のビジビリティを確保できる事業を選定して拠出している。定期的に収支報告書を受領して、事業の進捗を確認するとともに、拠出金の使途をフォローアップしている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		OSCEを通じた支援により、幅広い分野及び地域への支援が可能。拠出により、56か国の加盟国と12か国のパートナー国に対して我が国の支援のビジビリティを高めることができるとともに、世界最大の安全保障機構であるOSCEに対する影響力を確保することができる。さらには、被支援国との2国間の関係でも良好な関係を構築することが可能であり、本拠出金の意義及び効果は高い。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	OSCEの活動分野は幅広く、OSCEの拠出金を通じて支援できる分野及び国(地域)も比較的幅広い。支援にあたっては、拠出金による支援そのものによる効果及びOSCEにおける我が国の関与やビジビリティをより効果的にする拠出案件を選定するよう今後とも引き続き留意する。			
予算監視・効率化チームの所見				
抜本的改善		・拠出額減額		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
縮減		任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー		0165	平成23年行政事業レビュー 163	